

【記入例】国民年金 老齢基礎年金額加算開始事由該当届

①②欄

受給権者（年金に加算がつく人）について記入してください。
※記入例では年金花子さんについて記載しています。

③④⑤欄

配偶者について記入してください。
※記入例では年金太郎さんについて記載しています。

⑦欄

受給権者（年金に加算がつく人）について記入してください。
※記入例では年金花子さんについて記載しています。

受給権者の住所欄

アパート・マンションにお住いの場合は、名称・部屋番号も記入してください。

受給権者の電話番号欄

平日の日中に連絡を取りやすい番号を記入してください（携帯番号など）。

生計維持申立欄

必ず記入してください。

国民年金 老齢基礎年金額加算開始事由該当届 様式第 222 号

(老齢たる年金給付の受給権者の配偶者が下記の⑤欄に掲げる年金を受けているとき、または受けられることになったときの届) *基礎年金番号(10桁)で届出する場合は左詰めでご記入ください。

54	57	80			
受給権者	① 個人番号(または基礎年金番号)および年金コード		個人番号(または基礎年金番号)		年金コード
	X X X X X X X X X X		X X X X X X X X X X		1 1 5 0
配 偶 者	② 生 年 月 日		大 3 ・ 昭 5 X X X X X X		
	③ 氏 名		年 金 太 郎		
受給権者	④ 生 年 月 日		大 3 ・ 昭 5 X X X X X X		
	⑤ 受けている老齢・退職または障害を支給事由とする年金の名称およびその支給を行う制度の名称等		年金の名称 ア. 老齢厚生年金(額計算の基礎となる被保険者期間 240 月以上) イ. 退職共済年金(額計算の基礎となる組合員等の期間 240 月以上) ウ. 障害厚生年金(1 級または 2 級の障害の状態にあるものに限る) エ. 障害共済年金(1 級または 2 級の障害の状態にあるものに限る)		
受給権者	⑥ 上記⑤の年金が受けられることとなった年月日		昭和平成令和 X X 年 X X 月 X X 日		
	⑦ 現在、老齢基礎年金または老齢厚生年金以外に公的年金制度から年金を受けていますか。受けている方・請求中の方は、その制度の名称および年金証書の年金コード(記号番号)をご記入ください。		ア. 受けている <input checked="" type="radio"/> イ. いない <input type="radio"/> ウ. 請求中 <input type="radio"/>		
※ 年金額	改定年月日		事由	老基加算表示	時効区分
	改定年月日		事由	◎状態表示	※
改定 54	改定年月日		事由	◎状態表示	調整額
	改定年月日		事由	◎状態表示	調整額
* 配偶者基礎年金番号		80	1	2	
令和 X X 年 X X 月 X X 日 提出 郵便番号 7 6 8 - 0 0 7 1 受給権者 住 所 杉並区 高井戸西 3-5-24 〇〇マンション XX 号室 (フリガナ) ネンキン ハナコ 氏 名 年 金 花 子 自宅の電話番号 (XX) - (XXXX) - (XXXX)					
⑧ 生 計 維 持 申 立 上記の配偶者が⑤欄のアからエの年金の受給権者となった当時、または私が 65 歳に到達した当時、私は配偶者に生計を維持されていたことを申立てる。 令和 X X 年 X X 月 X X 日 受給権者氏名 年 金 花 子					

(裏面の「記入上の注意」をよく読んでからご記入ください。)

●主な添付書類と使用目的

	添付書類 (コピー不可)	使用目的
1	受給権者の戸籍抄本または戸籍謄本 (記載事項証明書)	受給権者と配偶者の身分関係を確認するため
2	世帯全員の住民票の写し (続柄・筆頭者が記載されているもの)	受給権者と配偶者の生計同一関係を確認するため
3	受給権者の所得証明書、非課税証明書のうち、いずれかひとつ (⑥の日付からみて直近のもの)	受給権者が配偶者によって生計維持されていることを確認するため

※ 1、2 の添付書類は⑥の日付より後に発行されたものでかつ提出日前 6 カ月以内のものをご用意ください。

※ 2、3 の添付書類は、該当届に個人番号 (マイナンバー) を記入した場合は、添付を省略できます。

※ 審査の過程で、添付していただいた書類以外の書類が必要になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。